

総合的な学習の時間

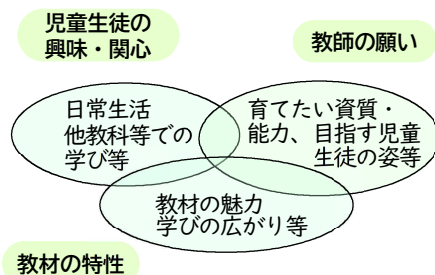
探究的な見方・考え方を働かせながら、探究的な学習を進める授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 単元を構想する際は、「児童生徒の興味・関心」「教師の願い」「教材の特性」の三つの視点から、十分に考えを巡らせ、中心となる活動を思い描く。
- ② 探究的な学習の過程では、何のために学ぶのか、どのようなことを学ぶのかということ児童生徒自身が考え、異なる多様な他者と協働して主体的に課題を解決しようとする学習活動が重視される。探究の学習の過程を繰り返すことで、探究的な学習の質を高めていくことができるようにする。
「②情報の収集」では、学習活動によって収集できる情報に違いがあること、課題解決のための情報の収集を自発的に行うこと、収集した情報を適切な方法で蓄積すること等、各教科等で身に付けた資質・能力を発揮して情報収集や選択をすることについて配慮する。
- ③ 総合的な学習の時間で目指す児童生徒の姿は、各学校において児童生徒の実態を踏まえて設定する。また、見直しをもちながら評価を計画的に行うために、誰がどの場面で、どのように評価するかを明確にする。さらに、児童生徒の学習状況を評価する際は、妥当性を高めるためにも多様な評価方法により学習過程の評価を意識して行う。

【単元の構想】



【探究的な学習の過程】



児童一人一人が設定した課題を基に、情報を収集するための学習の例

小学校第3学年

単元名「地いきのみりよくを伝えよう」

◇単元の目標

探究的な学習を通して、地域の魅力や価値を理解するとともに、自分が考えた地域のよさを身近な人に伝えることができる。

◇単元の流れ

[小単元1] 地域の魅力を調べよう

◇指導計画(全12時間)

[第1～4時] ①課題の設定

➡ R7「南の要覧」p25

他の地域にはない、自分たちの地域ならではの魅力について考え、個人の課題を決める。調査活動の計画を立てる。

[第5・6時] ②情報の収集

自分で選択した方法で調べる。

[第7～9時] ③整理・分析

収集した情報を整理し、分析する。

[第10～12時] ④まとめ・表現

整理・分析したことを基に、地域の魅力についてグループで話し合い、伝えたい地域のよさをまとめる。

[小単元2] 地域の魅力と自分とのつながりを調べよう

[小単元3] 地域の魅力を発信しよう

<参考> 「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」

(小学校編)

(中学校編)

令和3年3月

令和4年3月

様々な情報収集の事例や多様な評価の方法等が掲載されています。

◇単元構想における外部資源の活用

保護者や地域の方々、専門家等の多様な人々の協力を得ながら、社会教育施設や社会教育団体等の施設・設備等、様々な教育資源を活用することが効果的な実践につながります。



単元の構想を行う際には、学習活動を支援していただく団体や個人を教師間で想定し、いつでも連携・協力を求められるよう日頃から関係づくりをしておくことが大切です。①

◇学習活動の一部(5・6/12)

設定した課題を基に、解決に必要な情報について、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積する。

T: 皆さん一人一人が設定した課題の解決に必要な情報を、どのようにして集める計画を立てましたか。

S1: 地域の名物(特産品)の産地について、社会の学習を生かして地図にまとめたいので、公民館や市役所に連絡して詳しく聞いてみます。

S2: 今と昔の地域の人の暮らしの違いを調べるために図書館のふるさとコーナーに行きます。

T: 同じ方法で調べる友達と班を作って協力すると、もっとたくさんの情報が集まるかもしれませんね。

S1: 市役所に連絡してみたら「道の駅に連絡してみれば」と言われました。誰か道の駅で調査した人はいますか。

S3: 道の駅で行ったインタビューなどの情報を、クラウド上に保存してあるので、ぜひ見てください。

T: たくさんの情報が得られそうですね。新しい疑問が生まれたときには、リモートインタビューをしたり、実際に訪問したりすることもできますね。

児童がより多くの情報やより確かな情報の収集を行うためには、各教科等で身に付けた知識や技能を発揮し、目的を明らかにして活動できるようにします。②

児童が再調査するなど、試行錯誤しながら、目的に応じた情報収集が適切にできるようになります。②

収集した情報を適切な方法で蓄積し、共有することで、児童自らの課題解決に生かすことができます。②